

大学院医学研究科 博士課程 医学専攻

専攻主科目名

麻醉科学

※附属溝口病院

◆問合わせ連絡先 担当：溝口病院麻醉科 丸山晃一

E-mail mhanesth@med.teikyo-u.ac.jp

TEL 044-844-3293 (医局)

HP_(研究室・診療科) <https://www.teikyo-mizonokuchi-masui.jp/>

◆溝口病院麻酔科の紹介

帝京大学医学部附属溝口病院(以下溝口病院)麻酔科は帝京大学本院(板橋)とは独立した医局として、東京大学、横浜市立大学、埼玉医科大学国際医療センターなどの麻酔科と人事交流をしながら運営されてきました。これまで大村昭人先生(元・帝京大学医学部長、元・医療技術学部長)、工藤一大先生(元・国立医療機構横浜医療センター副院長)、安藤富男先生(現・溝口病院常勤客員教授)が教授・科長を務めてこられました。

長年にわたり医療機器メーカーと連携して研究活動を行っており、人工鼻や呼吸器監視装置の開発実績があります。現在も工学系アドバイザーとともに行う実験や研究が進行中です。臨床研究やEBM研究も継続して行っているため、学位取得を希望する場合も経験豊富な上級医がバックアップします。

◆主な教員スタッフの紹介

教授	丸山晃一 ＜専門分野＞ ＜関心領域＞	1990年 山形大学医学部卒業 気道確保法、心肺蘇生法 気道確保デバイス、カフ圧の気道への影響、EBM研究、 医療機器開発
准教授	平林 剛 ＜専門分野＞ ＜関心領域＞	1993年 山梨医科大学卒業 麻酔器、呼吸管理 新しい呼吸モード、呼吸モニターの開発 人工鼻、加温加湿器の改良
常勤客員教授	安藤富男 ＜専門分野＞ ＜関心領域＞	1980年 横浜市立大学医学部卒業 神経麻酔科学、麻酔と長期予後 麻酔薬の幼若神経に対する作用、医療機器開発

◆研究テーマの紹介

①人工呼吸モードに関する研究

新しい呼吸モードが肺機能に与える影響を探求する臨床研究。

②人工鼻に関する研究

加温・加湿効率の良い人工鼻の開発や人工鼻の設置方法、換気条件が人工鼻機能に与える影響等に関する研究。工学系アドバイザーとともに基礎実験や研究を行う。

③EBM研究

身近なクリニカルクエスチョンを、メタアナリシス手法を用いて探索する研究

④新規医療機器の開発に関する研究

人工呼吸器や麻酔器とそれらの付属機器の開発や普及方法に関する研究。民間企業との共同研究。

◆最近の主な論文発表

1. Hirabayashi G, et al. Changes in dead space components during pressure-controlled inverse ratio ventilation: A secondary analysis of a randomized trial. PLoS One. 2021 13;16(10)
2. Saito M, et al. Comparison of polyurethane tracheal tube cuffs and conventional polyvinyl chloride tube cuff for prevention of ventilator-associated pneumonia: A systematic review with meta-analysis. Medicine (Baltimore). 2021 5;100(9):e24906.
3. Hirabayashi G, et al. Lung-protective properties of expiratory flow-initiated pressure-controlled inverse ratio ventilation: A randomised controlled trial. PLoS One. 2020 17;15(12):e0243971.
4. Ohshika, et al. Supraglottic airway device versus a channeled or non-channeled blade-type videolaryngoscope for accidental extubation in the prone position: A randomized crossover manikin study. Medicine (Baltimore). 2018;97(25):e11190.

ご興味のある方の連絡、見学を歓迎します。